

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	利用人数によって、スペース的には狭いため、安全面を優先し利用人数の調整を行う検討をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		パーテーションを活用し、各自の活動に集中して取り組めるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		消毒・清掃は徹底し、清潔な環境を維持することは日々心がけている。季節を感じられるような壁面、自分達の製作物を展示した空間づくりをしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		頂戴したご意見は職員間で共有し、改善していけるよう努めていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		ホームページにて公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		

切 な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		職員間で話し合い取り組んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		製作活動、運動活動、戸外活動など、プログラムが固定化しないように取り組んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	6		それぞれの特性を考慮して、作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		共有が必要なことは開始前に確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		終了後に、活動の振り返りは行い共有を図っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当児童なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当児童なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		必要に応じて、園と情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		6	小学校と直接情報共有する機会はなかった。必要に応じて積極的に情報共有していきたいと考えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		6	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時や連絡帳を通じて、家庭での様子、事業所での様子は密に共有するように努めている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		トレーニングではないが、希望があった方は面談をし、相談支援を行っている。	
保 #	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	保護者会は開催できていない。行事で親子参加の機会を作り、保護者同士交流できる場を企画していきたいと考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		6	相談があれば迅速に対応するように努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		6	法人の会報誌で定期的に活動を報告している。行事などで必要な連絡事項はお便りを都度配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		6	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		6	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	3	保護者への周知不足がある為、検討し改善していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		契約時にアレルギーに関しては確認している。食べ物の提供がある場合は、材料をすべて確認し承諾を得てから提供している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		事例があった際は職員間で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6	身体拘束は行わない。